

話題満載

平成22年度 南部の火祭り

8月15日、南部橋周辺の富士川河川敷をメイン会場として南部の火祭りが開催されました。

本年は初めてのイベントとして、投松明疑似体験が行われました。始めは上手く投げられなかった子供もそれぞれ上手くなり、入った際には大きな歓声が上がっていました。初めて体験して楽しさを知った子供たち、昔を懐かしんで投げた方など、それぞれ楽しんでいました。



また、盆の送り火・川供養という火祭り本来の趣旨に立ち返り実施しました。本年度は、新たに竹灯籠などをメイン会場を中心に配置し、ろうそくの柔らかい光が会場を包みました。

厳かに進められた大松明への点火、大松明に続き富士川を焦がす百八たい、勇壮な『火祭り太鼓』と続き、火祭りの最後はおなじみ、山間に咲く迫力ある2尺玉を始めとした打ち上げ花火。華開くと会場は拍手と歓声に包まれました。

火祭りにご協力いただいた皆様、ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。



防災訓練

9月5日(日)、町内一斉で防災訓練が行われました。

午前8時にサイレンと災害発生のアナウンスが流れ、地元消防団による指導の下、避難経路及び場所の確認、消火器を使った消火訓練・消火栓の操作方法の説明などの訓練が実施されました。



また、内船中区では新しい取組みとして山梨県峡南地域県民センターと協力し、避難所の開設・運営に関する訓練として、避難所の安全確認及び誘導・炊出し・救護体制の確認などの訓練が行われました。この後、避難場所の栄小学校体育館で峡南地域県民センター・地域防災幹を講師とした講演が行われました。

災害発生時初期は自主防災力が一番問われる時間帯です。地域の自主防災力を高めることで多くの命が助かります。まずはその第一歩として各ご家庭の持出品や家具の転倒防止など、身近な場所の確認から始めて下さい。

濃淡が生み出すふるさとの景色

【望月勅雄・水墨で描く花とふるさと展】が開催されました。



7月1日～7月31日まで、アルカディア文化館2階美術館において、望月勅雄「水墨で描く花とふるさと展」が開催されました。

国際画展において外務大臣賞、台北国際展において優秀賞また、6月には、スペイン・サラマンカ市2010年国際書画選抜展に出展されるなど、その表現は国際的にも認められ、現在は幅広い活動をされています。

美術館展示室に飾られた水墨の様々な技法を活かした31点の作品は、観る人の心に豊かな感動を与えました。



【本郷 千年サクラ】
望月勅雄
(南部町立美術館 寄贈)

アルカディアスポーツ フェスタ2010

7月25日、アルカディア総合運動公園で「アルカディアスポーツフェスタ2010」が、開催されました。

当日はキンボール大会や甲府工業新体操部OBの公演・フラダンスの公演やプール無料開放、屋台による軽食販売など、多くの方が来場し、スポーツに触れていました。

これから秋となりスポーツで汗を流すのにちょうどよい季節となります。皆様もこれからスポーツを楽しんでみてはいかがでしょうか。



国勢調査にご協力下さい

～日本に住んでいるすべての人・世帯が対象です～

平成22年10月1日を基準日として「平成22年国勢調査」を実施致します。

国勢調査は日本に住んでいる全ての人を対象とする国の最も基本的な統計調査です。この調査結果は様々な形で私たちの生活の中に活用されています。

皆様のご協力をお願い致します。

◆調査の詳細について

別途配布する「国勢調査のお知らせ」をご覧ください。

◆調査員がお宅を訪問します

9月下旬より調査員が皆様のお宅を訪問しますのでよろしくお願い致します。10月に入っても調査票が届かない場合には、企画課統計担当までご連絡をお願い致します。

お問合せ

企画課

☎ 66-3402



母子相談員の紹介

母子・父子家庭等の身近な相談窓口として、町では町内各地区に母子相談員を設置しております。

子どものごことや生活のことでお困りのことがありましたら、ご相談ください。

担当地区	相談員
中野・本郷 成島・柳島	望月晴代 ☎64-3884 <small>(本郷)</small>
南部・大塩	芦澤郁子 ☎64-2532 <small>(南部)</small>
内船上・内船中 内船下(除く 島尻)	遠藤知子 ☎64-2566 <small>(内船上)</small>
内船下(島尻) 井出・十島・佐野	佐野芳江 ☎67-3018 <small>(十島)</small>
富河	鶴見のり子 ☎66-2533 <small>(文京)</small>
万沢	望月節子 ☎67-3034 <small>(富士見)</small>

任期 平成22年4月1日～

平成24年3月31日

お問合せ

福祉保健課 ☎64-4836

障害者相談員の紹介

山梨県では、身体障害者福祉法及び知的障害者福祉法の規定により相談員を設置しております。

県内では身体障害相談員102名、

知的障害者相談員67名を委嘱し、当地域内に居住する障害者及び保護者の方々を対象として相談に応じています。町の相談員は次の方です。

身体障害者相談員

青柳 栄三さん(元徳)

☎67-3721

知的障害者相談員

望月 倫代さん(中央)

☎66-2011

秘密は固く守られます。

ご相談を希望する方は、お気軽にお電話ください。

お問合せ

福祉保健課 ☎64-4836



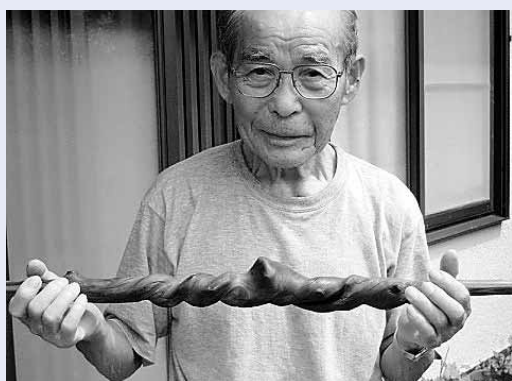
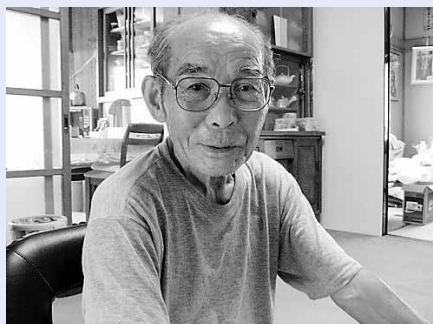
元氣です!! なんぶ

人の役に立つことがうれしい

文京区

望月 一夫さん 85歳

文京区にお住まいの望月一夫さん。定年後72歳まで仕事を続け、退職後手ぶらで日々を過ごすことが性に合わず、大好きなものづくりをしたいということで杖作りを始めたとの事。



今まで作成した杖は約1000本。多くは活性化センターや役場などで配られています。また、たけのこまつりで並べ来たお客さんに配った杖は、ある時偶然再会し、その際にも配った杖を使って頂いていたことがとてもうれしかったとのこと。

ある僧侶の「施しの気持ちは天下一品」という言葉に感銘を受け、今もその気持ちを胸に「人の役に立つことがうれしい」と語ってくれた望月さん。

これからも是非精力的な活動をして頂きたいと思えます。

杖作りの素材は山の竹や木を中心に集めているとの事。自然の素材のためちよつとよいところ曲がっていたりする素材もあるが、バーナーであぶって修正したりするとの事。時には人工では作ることの出来ない形状の素材を見つけ、形状の美しさを活かした加工を施し素敵な作品に仕上げたりすることもあるとのこと。